



「自然とのつながりを強く感じた」

天候の変化が著しかった今年のはにわ祭。時折吹く風によって舞う葉や雲間から差し込む光がとても印象的で、風景に溶け込んで自然と一体になっているような気持ちになりました。また、子どもたちの充実感に満ちた表情が見られたことも、うれしく感じます。

今後は、はにわ祭に留まらず「古代の文化」を地域全体で継承していきたいです。

荒井紀人さん



11月13日、町の一大イベントである「第37回芝山はにわ祭」が4年ぶりに開催されました。殿塚・姫塚にて現代に降臨し、芝山仁王尊や芝山公園を行列した古代人の一行は、古代の心の豊かさや生き様などをメッセージとして現代人に残し、昇天しました。



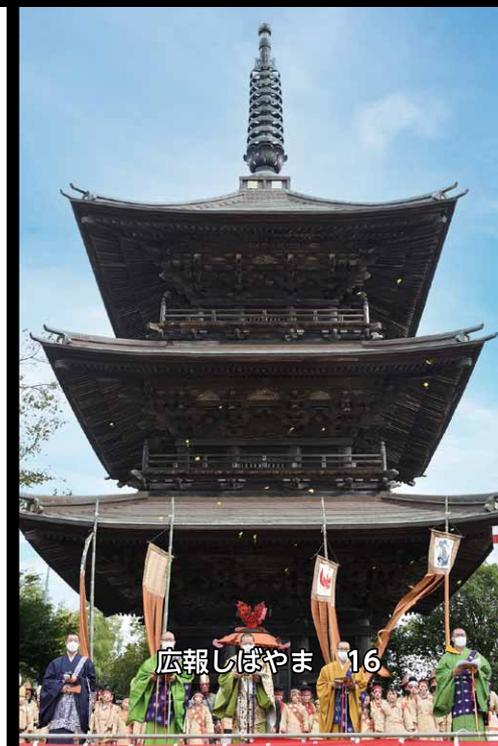
「自分たちが参加することで 少しでも町のためになれば」

学生の頃に古代人として参加したこともあり、懐かしさを感じました。(山崎さん)

同級生の山崎さんに誘われての初参加でしたが、良い経験になりました。(藤川さん)



藤川洸史さん(写真左) 山崎益宏さん(写真右)





「中学生になったらまたやってみたい」

本物の古代人になった気分で楽しかったです。中学生は弓や旗を持ったり舞巫女の踊りをされていてカッコよかったので、大きくなったらやってみたいと思いました。

子ども古代人(芝山小学校4年生)



「待ちに待った開催がうれしい」

台風や新型コロナウイルスの影響で中止となっていた間も、ずっと開催を楽しみにしていました。4年ぶりの開催が決まったこと、小学生の孫が古代人をやると言ってくれたことがとても嬉しかったです。

岩澤初江さん



—特集— 第37回芝山はにわ祭



「着付けなどは大変だけど その忙しさもうれしい」

縮小開催ではあるものの、大勢で集まることすら制限されていたので、みんなで参加できるイベントが再開したことが何より良かったと思います。朝の着付けやヘアセットは時間が限られた中での作業で大変ですが、その忙しさもうれしいです。



鈴木和恵さん(写真左) 鵜澤香織さん(写真右)
松田弥生さん(写真中央)

